

## 第8 来日外国人犯罪の特征的傾向

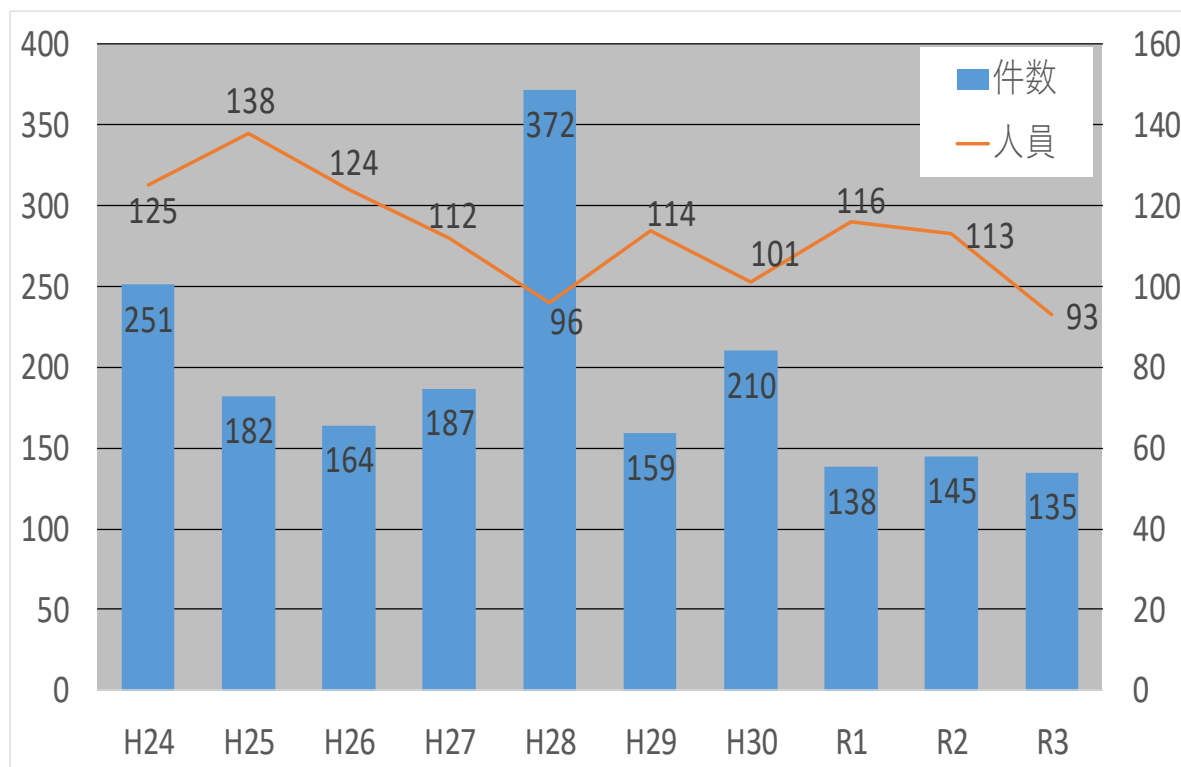
### 1 来日外国人犯罪の傾向

#### (1) 検挙件数・人員の年別推移

過去10年の検挙状況を見ると、図表49のとおり、検挙件数は最も多い年で372件であるも、令和3年は135件と最も少ない。

検挙人員は最も多い年で138人であるも、令和3年は93人と最も少ない。

(図表49) 来日外国人犯罪検挙件数・人員の年別推移



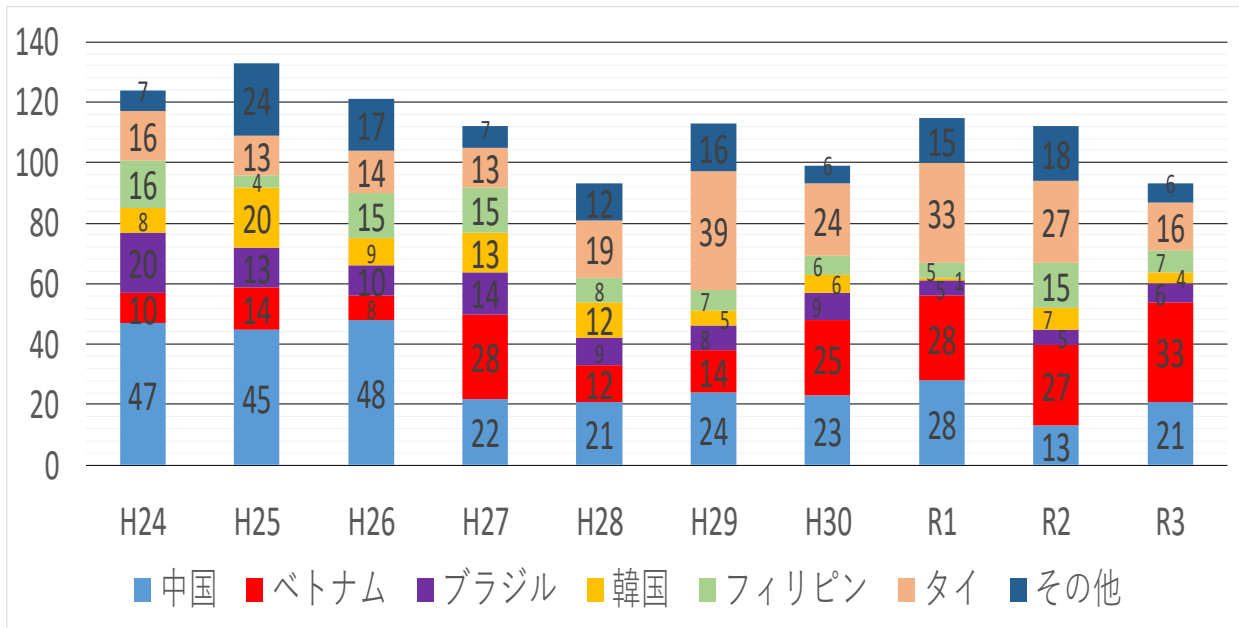
#### (2) 国籍別検挙人員の年別推移

過去10年の国籍別検挙人員は、図表50のとおりで、ブラジル人、韓国人、フィリピン人による犯罪は減少傾向にあり、ベトナム人や中国人による犯罪が増加傾向にある。

令和3年の国籍別総検挙人員は、ベトナム33人(35.5%)、中国21人(22.6%)、タイ16人(17.2%)、フィリピン7人(7.5%)、ブラジル6人(6.5%)、韓国4人(4.3%)で、ベトナム、中国、タイの検挙人員の割合が全体の75.3%を占める。

(図表 50) 国籍別検挙人員の年別推移

単位：人



## 2 令和3年中の検挙状況 ※（）内は前年比

### (1) 総数

- ア 検挙件数 135件（-10件、-6.9%）
- イ 検挙人員 93人（-20人、-17.7%）

### (2) 刑法犯

- ア 検挙件数 90件（+40件、+80.0%）
- イ 検挙人員 64人（+19人、+42.2%）

※ 窃盗 62件 27人、詐欺 10件 9人の他、殺人等の凶悪事件も検挙

### (3) 特別法犯

- ア 検挙件数 45件（-50件、-52.6%）
- イ 検挙人員 29人（-39人、-57.4%）

※ 入管法違反が 35件 21人で最多

### (4) 国籍別（上位3位）

- ベトナム 33人（+6人）
- 中国 21人（+8人）
- タイ 16人（-11人）